

鹿児島県立
川辺高等学校



祝

第十六回全国高等学校
なぎなた選抜大会

準優勝

令和3年3月

上田 國光
牧代 帆夏
大佳 蓮
(1年) (2年)



懸垂幕の貼ってある校舎の外壁

～辺高はキミのミライによりそう～

Jingaryo Damashii
KAWANABE, KAGOSHIMA, JAPAN SINCE 1900

夢の応援団

創立120周年記念事業に向けて製作された看板

第45号

○発行所 川辺高等学校東京同窓会

○編集発行人 森山昭利

題字 西 春彦 著

○発行日 令和3年10月31日

○印刷所 株式会社 盈進社 ☎03(3262)3471

巻 頭 言

はじめに

今年度も「神戈陵」の表紙裏ページに第四十五回の総会・懇親会の模様を記載・報告することは、残念ながらできませんでした。二年度にわたりコロナ禍で総会・懇親会が中止に追いやられるとは、思いもよせませんでした。このようなことは、当窓会発足以来なかったことです。会員の皆様方の相互の交流・親睦作りが出来なかつたことは、残念でなりません。

来年こそは、国内のワクチンの接種率が上がり、新型コロナウイルス感染症対策が更に効果を上げ、感染流行を沈静化する事を祈るばかりです。そして、第四十六回総会・懇親会が開催でき、多くの会員が元気に参加できることを祈念しております。

コロナ禍のTOKYO2020+1 オリパラから世界平和へ

世界中が新型コロナウイルスのパンデミック状態下の中で、TOKYOオリパラの開催を、IOC・国などは

国民世論に反して決断したものだと思っています。

安心安全な大会を実践していくと、口でもっともらしく言われても具体的な対策が良く見えない中では、国民は非常に心配だったと思います。開催の評価は、この後に下ると思いますが。

いざ開催されると、アスリートの頑張りに拍手喝采。特にパラアスリートとの身体的障害を超越した運動能力・精神力には、感嘆しました。スポーツ精神は、戦い終わればノースサイド。オリンピックの本来の精神である、世界平和の推進をもっと前面に出し、そして世界平和の実現の原動力に、なってもらいたいものです。

「神戈陵」45号の紙面の特徴

① 戦争の悲惨さを語り継ぐ

先の戦争の壮絶な悲惨さを後世に語り継ぐ人が、次第に少なくなってきました。

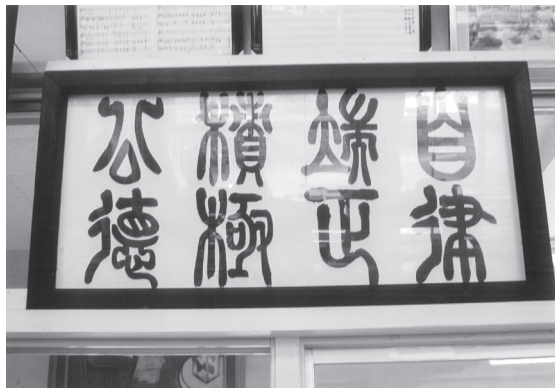
前橋先輩の川辺中学時代の「学徒義勇戦闘隊」の過酷な体験を紹介します。二度と戦争のない日本を後世へ繋いでいきたいものです。

② 「神戈陵」創刊号の1ページの紹介

「神戈陵」も創刊号から45年の

年月を重ねてきています。この事は先輩方の貴重な取り組みであり財産です。この二年度やもすると当窓会の活動が沈下しているように感じてなりません。このような中、川辺高校東京同窓会の発足総会の熱気を感じていただき、これからの当窓会の沈滞ムードを、上昇気流に乗せていきたいものです。

③ 「神戈陵」45号は、「陵友だより」の紙面が少なく、更に女性の寄稿が少ない状況でした。何名かの方にお願いをしましたが、このコロナ禍で趣味の教室もなく、巣籠状態で寄稿する題材が見つかりませんとの事でした。この様なところ



額に納められた篆書体の校訓



正門ロータリーにある校訓の石碑

まで、コロナ禍の影が及んでいきます。来年度の「神戈陵」には、女性の方を含め、多くの方のご投稿お待ちしております。

歴史ある母校の校風と校訓

校風は「神戈陵精神(魂)」に表現され、教育方針は校訓にある「自律・端正・積極・公德」の具現化と「知・徳・体」の調和のとれた、創造性・実践力のある人材育成をめざしています。

母校がこの校風・校訓のもと、維持発展していくことを願っています。

「神戈陵」編集担当・副会長
昭和41年卒 峯苦稔(三)



再びコロナに翻弄されて（川辺高 校東京同窓会の第44期）

東京同窓会会長 森山 昭利
昭和41年卒

昨年は新型コロナが猛威を振るう中で、総会・懇親会の中を余儀なくされました。その後も相次ぐ政府の対策にもかかわらず感染拡大が続き、6月に予定していた総会・懇親会は書面表決方式での開催となりました。幸い会員の皆様から多数の投票をいただき、重要議案5件は無事可決されました。

こうした環境下で、東京同窓会では毎年欠かさず発行してきた会報誌「神戈陵」は、無事発行することが出来ました。ただ、その他の活動については、役員会や評議員会を含めて大きな制約を受けざるを得ませんでした。

昨年に開催予定であった母校の創立120周年式典も延期され、出席者を母校関係者のみに限定して本年11月20日に開催予定です。関東地区では他の関係団体の活動も影響を免れず、関東さつま川辺会や関東知覧会からも、相次いで総会・懇親会の中止連絡がありました。

一方、母校の状況に目を転じると、本年の新入生は35名あまりと例年の三分の一にとどまり、母校や同窓会の存続すら危惧されます。このような難局にあたり、新しく校長に就任された、前田祐一前教頭のご尽力に期待するところ大です。すでに前田校長は母校のホームページに、「神戈陵を渡る風」（校長通信）と題したコラムを毎週金曜日に掲載するなど、生徒・職員とのコミュニケーションを新しい形で始めています。私ども東京同窓会も母校の活性化に少しでも貢献するとともに、年間を通じて活動を活性化していきたいところです。まず、手始めにこの会報誌「神戈陵」の発行を維持・継続するとともに、令和4年6月4日（土）に開催予定の総会・懇親会を成功させるべく準備を進めております。会員の皆様には今後とも神戈陵への寄稿ならびに積極的な総会・懇親会への参加をよろしくお願い申し上げます。



「神戈陵尚学舎」

神戈陵尚学舎は、母校創立100周年記念事業で同窓会から母校に寄贈されました。今では母校学生たちの自習、先生との進路指導の相談の場など活動の拠点になっています。

正門左側に設置してある看板

各大学への合格状況や部活動の入賞等、母校の活動の成果が紹介されています。





創立120周年を迎えて

同窓会会長 森田 剛
昭和43年卒

なかなか収まってくれないコロナ禍の中で、1年延期した私たちの川辺高等学校創立120周年記念式典も、規模を縮小した上で、今年11月20日に実施することに決定し、準備を進めているところです。記念式典には、多くの同窓生の皆様にご参加いただいた上で、120年の歴史を刻んできた母校の現在の様子をご覧いただき、在校生たちへ激励等をしていただければと考えておりました。しかし、ワクチン接種が始まったとは言え、まだまだ予断を許されない状況から、ご来賓、同窓生の皆様へのご案内を「現況を鑑み、式典への参加をご遠慮ください」との文言を入れて案内することとなり、また祝賀会も中止することといたしました。

さて創立120周年を迎えるにあたり、同窓生の皆様に募金をお願いいたしましたところ、多くの皆様からご賛同をいただき、誠にありがとうございました。

同窓会では、創立120周年記念事業として、ITC関連事業、育英奨学事業、学習環境支援の3つの事業を行うことを計画しております。そのような事業のうち、最初のITC関連事業については、早速1年前倒しして実施し、各クラス全員が同時にインターネット端末を利用した授業を受けることができる環境を整えることができました。2つめの育英奨学事業は、創立90周年の時にスタートしたもので、「自己実現」のため、勉学・部活動・生徒会活動に精進し他の模範となつている生徒を激励する目的で、毎年奨学金を授与しているものです。3つめの学習環境支援は、学校活性化のための生徒募集や外部講師の招へい等の費用補助などを南九州市とともに援助しているものです。

このように母校の教育活動の支援ができますのも、10年ごとに行われております創立記念事業募金に賛同し、ご寄付下さる同窓生の皆様の母校愛の賜物と感謝申し上げます。ただ、10年ごとに創立記念式典を行う際、同窓会が皆様に多大なる募金をお願いすることに疑問の声があるということも聞いており、今後の検討課題としなければなりません。川辺高校同窓会が、同窓生の絆を深め、母校を今まで同様応援していくため、これからのようになら検討を重ねていきたいと思っております。

今後とも、会員の皆様のご協力をどうかよろしくお願いいたします。



「新たな時代へ向けて」

川辺高等学校校長 前田 裕一

今年も、新型コロナウイルスの影響が続いており、今までの日常が失われたような日々がまだまだ続いております。新しい生活様式のもと、活動の機会は再開され、東京オリンピックも開催され、繰り広げられた熱戦に一喜一憂し、真摯なアスリートの姿や手にしたメダルに感動しています。東京も梅雨が明け、猛暑日や熱帯夜が続いています。涼しいところで、テレビ観戦などに努めるなど、体調管理に十分気をつけながらお過ごしください。

さて、最近の学校の様子ですが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、学校行事を開催しています。PTA総会は書面決議としましたが、その他の遠足や文化祭は一部保護者の観覧の制限は行いながらも開催いたしました。部活動においては、地区大会や県大会はすべて実施され、8月に行われる全国高校総体に、「なぎなた部」が、団体・個人、演技のすべての部門（石川県開催）に出場します。同様に、日常は個人で活動している東大貴くんが、自転

車競技（ロードレース部門）の九州大会で上位入賞を果たし、出場（福井県開催）します。また、地元の伝統行事の祇園祭は、今年も中止となりましたが、川辺高校は「総合的な探究」の中で地域連携を取り入れた活動を推進しています。今回は、南九州市観光協会と共同で行っている「ふうりんの小径」の催し物や川辺通り会が企画した「かわなべ軒先夜市」にも多数の生徒がボランティアで準備・運営や演奏などに参加しました。今後も、新たな地域連携の場を広げ、地域になくはならない高校を目指し、学びの場を広げていく計画です。

最後になりましたが、私は、この4月に校長に就任いたしました。川辺高校の活性化を目指して努力する所存です。平素から教育活動に対し深い御理解と多大なる御支援を賜っており、厚く御礼を申し上げます。併せて東京同窓会の今後ますますの御発展を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

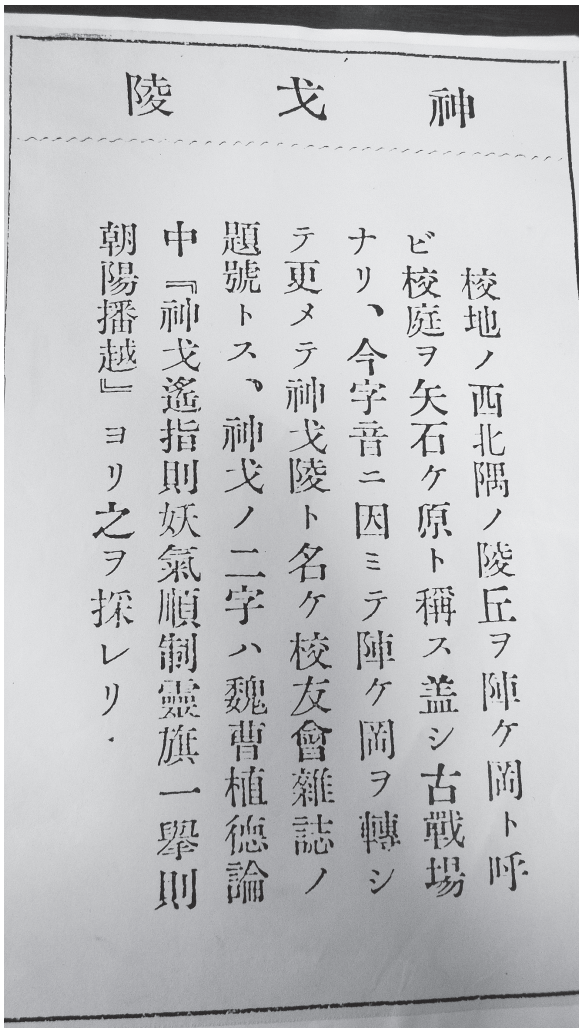
特集

「神戈陵」創刊号の1ページを掲載します。

コロナ禍の中、二年度に渡り総会・懇親会を開催することが出来ませんでした。その中での川辺高校東京同窓会活動は、主に会報誌「神戈陵」の発行だけに限られました。今年度の「神戈陵」は、創刊号から四五号まで積み重ねられてきています。

総会・懇親会が開催できなかったこの時に、我が川辺高校東京同窓会の発足総会（昭和五二年十一月十日）と、その模様の記載や初代会長その他発足に携わった大先輩方々のご挨拶など掲載された「神戈陵」創刊号（昭和五三年五月二六日発行；タブロイド判四ページ）について紹介します。

年配会員の皆様は当時がい出され、若い会員の皆様は当時の熱気を感じる事が出来るかと思えます。（編集部）



神戈陵の由来—大正7年第7代山崎校長



校庭の西端に鎮座する神戈陵

川辺高校 第一回東京同窓会

神戈陵健児

380人集う

感動と熱気の2時間 ——ヤングも大参集——

鹿見島は薩半島の米所・川辺
強く挨拶。顧問代表で酒架
益地から新幹線乗り継ぎで直線
道氏(大正4年卒元川辺町長)
に突走しても1500kmと
伏した東京で、明治三至四月
二三百開校以来、実に七八年に
して初めて陣ヶ健児三八〇名が
スクラムを組んだ。
初の川辺高校母校である原口
出雲季校(旧制四中、高安
哲氏(昭和10年卒)が学園等
併設中学(新制高校)卒業者の相
互親睦と母校の発展に寄与するこ
とを目的とした「県立出雲季学
委員五四名(総務班六名 調査班
二四名 名簿作成班一名 組織
も押し詰まった昨年一月一日
宛宛りして分運れの午後六時十
分切って着かれた。
が切って着かれた。
二文、東京・九段の私学館で華
ゆうに三〇名参加できると盛大
ホルからあふれ出る筈架司
者(重二、大築嶺)が前へお
書盛行(同30年卒)西氏の司会
で「出席進行」。
まず、東京同窓会発足の意趣を
このあと「乗船遊」に入り、
取った、昭和10年グループ、書
盛架氏の「開会の辞」に続き、同
・産屋敷氏(のちに幹事会の推
薦で幹事長に就任)の「経過報告」
「規約書」のあと「会長・各級
同窓会副会長 昭和(各)が祝
辞を述べ、東京同窓会発足を
盛りあげた。
推された川野重任(昭和4年卒)
東大(客教授)の就任挨拶、別掲
宮崎勝徳氏(昭和14年・国
立時代人生、職業は違えども、
はハチ切れんばかり、「神戈健児
健存」の心意氣を見せた。
(32年卒川野浩一郎)

「イヤ、二年ぶりに元
平原一男氏(昭和12年卒)が開
会の辞を述べる後九時ごろに
は、大ホールの演壇上に昭和
五年卒のヤングの発表あり、
ただき抱き合う長おじさん
応援歌を熱唱するや川辺高
校の新歌を歌うやとして会場
おはあさん。人それぞれ生れ育つ
た時代人生、職業は違えども、
しはし家庭を忘れ、職場を忘れて
思ひ出を語り、旧交を温めて総交
養だ。



題字・西 春彦 書
○発行 所
川辺高等学校東京同窓会
○編集 兼 行人 重 任
川 野 行 日
○発 行 日
昭和53年 5月26日

陵友だより

妻に頭があがりません

昭和40年卒 中島章一

冒頭に申し上げますが、私は悪いことをした訳ではありません。昭和四十八年十一月、私達は見合結婚でした。結婚式までに会ったのは、七月に見合い、八月の夏休みに帰省して桜島が目の前に広がる吉野公園で初デート、九月が結納、四回目が結婚式でした。その間は、今のよう携帯がある訳もなく、文通の時代でした。妻が大切に保管していますが百通以上になっていました。結婚して四年間で男の子三人に恵まれ、安月給で三人一束で育て、息子達は独立し、今では夫婦二人の生活になっています。

若い頃は全国に出張が多く、二週間振りに自宅の玄関を開けると、三才を頭に三人の子供達がゴソゴソと隣の部屋に逃げるのです。知らないおじさんと思われたようで、あの時の寂しさは忘れません。あの頃は出

張する時、一日に五千円の手当が現金で支給されていました。それを知った妻は真新しい通帳を私に渡し、「全国どこの町にも郵便局はありません。行った先で貯金したら、何日に何処に仕事で行ったかの記録・記念になります。」私は「それもそうだな」とままと乗せられ全国の郵便局に出向きました。各地には「お兄さん、寄つてらっしゃい」と誘惑の

歓楽街もありました。今、時々あの頃を思い出し嘆いていると妻は「私に感謝しなさい、お陰で健康な身体と家庭安全を確保できたでしょ」と言います。その通りだと思います。

私は妻に三度助けられました。一度目は六十三歳で脳梗塞になった時です。仕事から帰宅した私の様子が普段と違うと察した妻は、すぐ床を敷き、救急車でなく近くに住む長男に電話しました。長男はすぐに駆けつけてくれました。私自身も気分が悪く背広のまま横になり、意識が遠のいていきました。幸いにも国立災害医療センターの夜勤の先生が脳神経外科の担当でした。即入院となりましたが、処置もよく後遺症もなく職場復帰することができました。

二度目は脳梗塞から六年目の自治会長をしてた頃の真夏の事でした。テニスに出かけていた妻が、何か虫の知らせか、いつもより二時間ほど早く帰宅したそうです。すると、私がソファに座って「頭が痛い、頭が痛い」と騒いでいたそうです。見ると外出用のYシャツを着てエアコンは止まっていたそうで、私自身、

具合が悪くなり、病院に行く前に風呂に入り、身を清め、エアコンを切り、外出の支度をした所で動けなくなっていた所に妻が帰宅したのだと後で解りました。タクシーを呼び、行きつけの病院でMRIやCTを撮りましたが、手に負えず生まれて初めて夫婦で救急車に乗り、国立災害医療センターに行きました。熱中症で一週間の入院でした。

三度目は最近の話です。熱帯夜で寝れず、明け方五時頃風呂に入り出ようとしたのですが、サッシのドアが開きません。ピタッと閉まり、押しでも引いてもビクともしません。隙間から妻を呼んでも反応がなく、ドアと格闘すること二時間。その内に、私は妻が死んでいるのではと我が身はさておき、心配しました。妻が死

んでたら葬式はどうしよう、テニスの仲間を呼ぶのかなそれとも呼ばないか、等と考えていたら、襖の開く音がして寝ていた妻が目覚ましトイレに入りました。そこで妻が気づいてくれたのです。「お父さん、何してるの！」とドアを外から押してやっとな、私は風呂場から脱出できました。又もや妻に助けられました。

私が妻に頭が上がらない理由が分かっていただけましたでしょうか。因みに、この山内一豊の妻は、同級生の新谷哲男君の妹の雅子です。私が三年生、雅子が一年生。同じ川辺高校の空気を吸っていたのに、全然私の事は目に入らなかった様です。



観光ボランティア「伊佐の風」

昭和41年卒 山下明世 (伊佐在住)

伊佐市のシンボル曾木の滝と発電所遺構
 昭和41年度卒業生の山下明世74歳です。私は
 62歳で退職して、以前からの約束通り両親と
 暮らべく伊佐市大口に妻と二人で帰りましに
 。2012年祭足の伊佐市観光ボランティア
 ガイドの会「伊佐の風」に当初から参加、伊佐市
 のシンボルである曾木の滝公園及び曾木第二
 発電所遺構周辺のガイドをしております。
 曾木の滝は、滝幅では日本一の長さ(210m)
 を誇り、高さ12mの東洋のナイアガラと呼ば
 ばれております。曾木第二発電所遺構は、明治
 42年に建設され伊佐市周辺三ヶ所の金山の排
 水ポンプの動力源として、又水俣の日本窒素
 肥料(株)の動力源としても重要な発電所でした
 。昭和40年2月、下流の鶴田ダム完成により
 水没することになり、56年の歴史に終止符を
 打ちました。冬は湖底に沈み、夏の間だけ現
 れる姿はまるで中世ヨーロッパの古城を想わ
 せるレンガ造りの建物です。平成18年国の登
 録有形文化財に、平成19年近代化産業遺産に

と指定されました。去る7月10、11日の線状
 降水帯による豪雨で川内川が大洪水となり、
 曾木の滝展望所が流され、第二発電所遺構の
 外壁が崩壊してしまいました。「伊佐の風」とし
 て、この被害状況を広く知ってもらうようと写
 真展の開催を企画していたところ、地元明光
 学園女子高生の新聞投稿「街のシンボルが失わ
 れた今、私たちができることは何にか」みん
 なが一つになって考え行動すべき」との記事に
 背中を押され、写真展と募金活動を合わせて
 行うことになりました。曾木の滝展望所・曾
 木第二発電所遺構復興チャリティー写真展と
 募金を、伊佐市のご協力のもと、大口ふれあ
 いセンターにて開催してまいります。被害状況及
 び「伊佐の風」の活動状況を、私共のホームページ
 で「伊佐の風」で検索してご覧頂ければ幸いです。
 鹿児島県に帰省の際は、ぜひ伊佐市に観光
 でお越しください。お待ちしております。



曾木第二発電所遺構



東洋のナイアガラと呼ばれる曾木の滝

下り坂・日本の雲

昭和41年卒 寺師 慶志

(鹿児島在住)

「坂の上の雲」(司馬遼太郎、文春文庫・全8巻)を再読した。実に、長い物語である。しかし、ぐいぐい引き込まれ、疲れさせない。明治維新をとげ、近代国家の仲間入りをした日本は、息せき切って先進国に追いつこうとしていた。前だけを見つめながら歩く。坂の上の青い天にかがやいている白い雲のみを見つめて坂をのぼってゆく。

今この国は、新型コロナの感染症に翻弄され、漂流、難破。情けない実態をさらし続けている。絶望したくなることばかりだが、子や孫のことを思えばそういうわけにはいかない。昂揚の時代・明治の群像を描いた長編小説を前回にもましてむさぼり読んだのは、その危機感、焦りがある。

「日本は今や何から何まで三流」……作家・高村薫さんが近著「作家は時代の神経である」(毎日新聞出版)のインタビュー記事は鋭い。

『世界を同時に襲った疫病は、論理が崩壊し、人命すら守れない政治をはじめ、あらゆる分野で「劣化」が進む。この国がもう老いていることに、多くの人はうすうす気付いているのではないか。その現実を受け入れ、これまでに培ってきた教育や技術を使って何とか持ちこたえるしかないでしょう。』

はたして、日本が一流だった時代はあったのか。世界最強の大英帝国は1902年、日英同盟を締結した。2年後、日露戦争が勃発。イギリスでは、南アフリカ戦争中に判明した「国民の退化」の実態がさまざまに調査、報告され、議論されていた時期である。日英同盟締結を上回る注目が日本に集まっていた。なぜか。

『日本人は少なくとも考えて行動し、しかも寡黙です。日本人を外交、組織、戦略、男らしさ、献身、自制心の手本とするヨーロッパ人がいるでしょうか。わけても、独立、独歩、自己犠牲、

黙して語らずという国民的能力は大したものです。』

その根底にあるものとして「武士

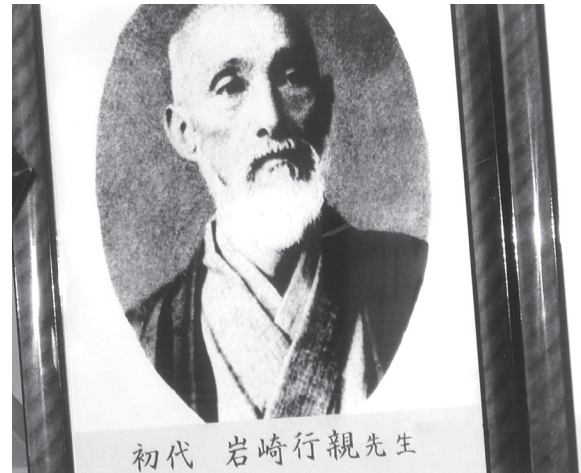
道」「自己犠牲」「サムライ」「自己抑制」を見ている。「下り坂・日本の雲」を考えるうえで今一度、考えてみたい視点である。



池田湖のひまわり畑から開聞岳を望む夏の雲

母校「神戈陵同窓会館」資料室の陳列物の一部紹介

「神戈陵同窓会館」は母校創立80周年記念事業で設置されました。母校正門を入り、右側の建物の中に設置されています。旧制中学時代から今に至る、思い出の品が展示されています。帰省の際には、是非立ち寄っていただければと思います。



初代 岩崎行親先生

故郷の旧所巡り

「清水磨崖仏群と岩屋公園」

昭和41年卒 野中 正 (川辺在住)

南九州市川辺町清水岩屋公園にある「清水磨崖仏群」は、万之瀬川のほとりの高さ約20m、長さ400mの岩壁に約200体の供養塔、梵字群が彫刻されています。

磨崖仏とは、岩壁など自然の岩山に造立された仏像のことです。国宝にも指定されている大分県の臼杵磨崖仏をはじめ、全国に分布しております。その中で清水磨崖仏群は、古いものは平安時代末期と推定され、鎌倉時代推定、室町時代推定、明治28年など四つの時期のものが彫刻されており、他には例をみない大規模なもので、歴史的にも仏教的にも価値の高いものです。

その昔、壇ノ浦の戦いで敗れた平家の落人が、祖先供養のために刻んだと伝えられています。中でも三大梵字、大五輪塔、三大宝篋印塔はこの磨崖仏を代表するものです。そのため、昭和34年6月10日に鹿児島県の指定文化財に指定されました。

その南九州市川辺町にある清水岩屋公園の清水磨崖仏群をPR・親んでもらいたいという思いで、毎年11月に「かわなべ磨崖仏まつり」が開催されます。

かわなべ磨崖仏まつりの見どころは、第1回(1987年)の「磨崖仏マラソン大会」から始まり、現在第32回(2019年)では、仮装をしながらの「玉入れ合戦」がメインイベントとなっています。また、玉入れ合戦以外にも子供相撲大会・フィッシング・幼稚園・保育園のおゆうぎ会・フリーマーケット・グルメガーデン・体験コーナー・抽選会など、子供から大人まで一日中楽しむことができる内容満載のイベントとなっております。



「前の戦争の悲惨さを語り継ぐ」

以下は、編集部からのご紹介です。昨年の終戦75年特集で、NHKB

Sで「果てなき殲滅作戦」の放映があると、当窓会・知覧会などからメールでの案内を受けました。その中で当窓会の先輩の前橋竹之さん（昭和25年卒）が、戦時中の大変な経験をお話されると聞きテレビ放映を見ました。

その内容たるや、正に背筋が凍り付くような内容でした。今まで知覧特攻平和会館での前途ある若い青年たちが敵艦に突撃死していく悲しい

歴史は、祖父母からもよく聞かされてはいましたが。

米軍が沖繩を占領後、本土上陸作戦に鹿児島・宮崎がターゲットで、ノルマンディー上陸作戦より大規模作戦の計画があり、更に広島・長崎の次の原爆投下が計画されていたとは！

前橋先輩の中学生時代の「学徒義勇戦闘隊」の軍事教練で爆弾をリュックに背負い、敵の戦車に潜り込む訓練のお話などがあります。まさに恐ろしい、話です。



前橋竹之著 三角兵舎の月

次第に前の戦争がどれだけ悲惨なことだったかを、知る人・語り継ぐ人が少なくなってきたままです。今ここに平和の尊さと、戦争は二度と起こしてはならないと、更に強く誓いたいと思う次第です。

（追記…前橋先輩は『三角兵舎の月』（2003年盈進社出版）で、当時14歳の川辺中学校在籍時、今の穎娃町青戸飛行場跡での学徒義勇戦闘隊の活動を伝えています。今回紹介した本新書のP129に一部紹介されています。）是非皆さん、ご一読いただければ幸いです。（編集部）

幻の本土上陸作戦

——オリンピック作戦の全貌

NHK「果てなき殲滅戦」取材班+中津海法寛

どこに身を隠しても必ず探し出し、一人でも多くの日本人を殺害するつもりだ。「アメリカ極東航空軍資料」より

（祥伝社新書 価格880円 +消費税）

昨年のNHKテレビ、終戦75年特集「果てなき殲滅戦」へ憎しみの連鎖の末に、この夏単行本として出版されました。45分間のテレビで放映されなかった私の話も、この本に詳しく書かれていますので、是非ご一読ください。令和3年8月14日

（昭和25年卒）前橋 竹之



私の作品展



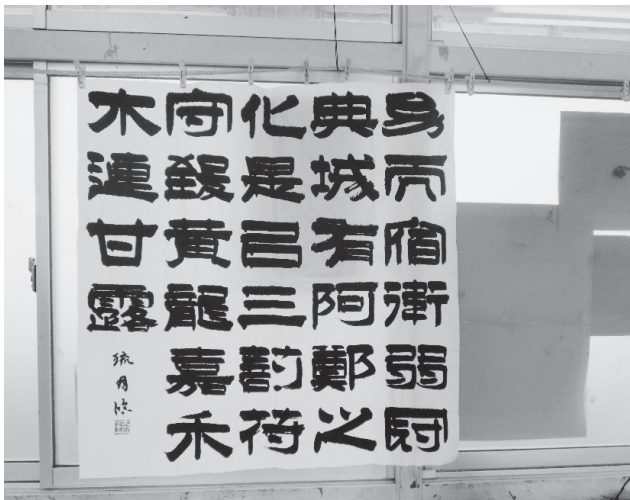
新宿御苑の桜と紅葉

昭和42年卒 中原信寛

コロナ禍でも桜は咲き紅葉が彩り
特別な時も平凡な日々も
変わりなく過ぎていく

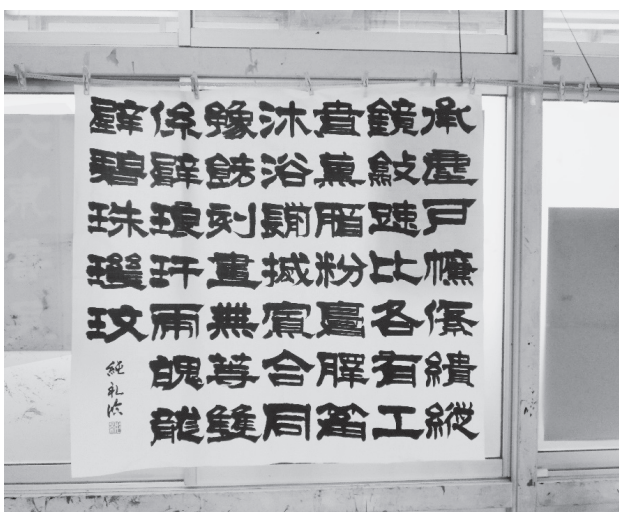
新しい日常に戸惑うことなく
変わらぬ思いと新しい気持ちで臨みたい



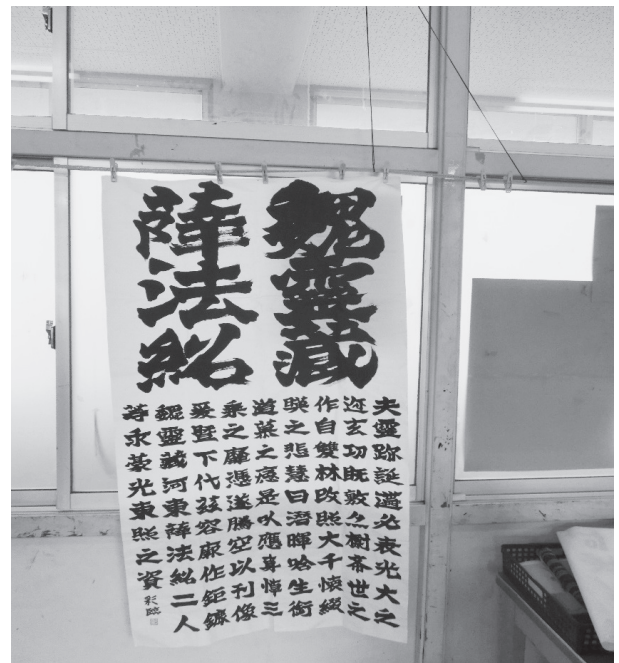


西狭頌(せいきょうしょう) 野沢 琉月(3年)

母校書道部作品展



木簡(敦煌漢簡)(もっかん とんこうかんかん) 野沢 純礼(2年)



魏靈藏薛法紹造像記 (ぎれいぞうせつぼうしょうぞうき) 堀之内 彩(3年)



祀三公山碑(しさんこうさんひ) 清水 杏華(1年)



趙之謙(ちようしけん) 柳木 来望(1年)

神戈陵 俳壇・歌壇

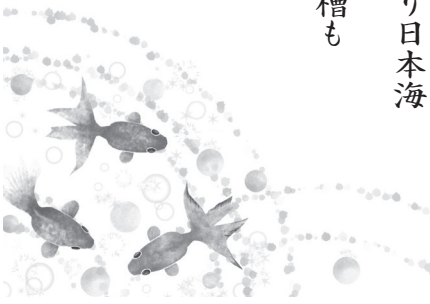


前橋 竹之 (昭和二五年卒)

- 一. 特攻の戦記を辿る紙魚しみの跡
- 二. 幼な名で呼びてとぶらふ沙羅の花
- 三. 飲み干せるジヨツキの底や夏惜しむ
- 四. 花火果て大群衆の闇解ほっる
- 五. 長き夜を長き貨車ゆく高架線

大平 政弘 (昭和三四年卒)

- 一. 街中のひらがな拾う入学児
- 二. 家庭教師も家族の顔で豆御飯
- 三. 笛一声千の声連れ神輿発つ
- 四. 夏めくや潮目くつきり日本海
- 五. 金魚買ふ竜宮城も水槽も



南谷 巨英 (昭和三六年卒)

- 一. 北斎の浪裏サーファー躍り出る
- 二. 甚雨きて網戸に蝉の雨宿り
- 三. ユーカりに蝉の輪廻を辿りけり
- 四. 巣穴出て野に冒険の蚯蚓かな
- 五. 浜に娘等コスプレ争う梅雨晴れ間

森山 昭利 (昭和四一年卒)

- 一. コロナ下に河津桜のあでやかさ
- 二. マスクして青柳見つつ籠る日々
- 三. クマゼミの聲聞きながら秋立ちぬ
- 四. ミンミンをジリジリあおる夏盛り
- 五. カレンダー丸めて覗く師走かな



神戈陵 俳壇・歌壇




えびの高原白紫池から韓国岳を望む。
湖面に紅葉が映える

橋本 起世子 (昭和四一年卒)

【俳句】

- 一. 春宵の路地に匂いし沈丁花
- 二. 街路樹の隅に一輪帰り花
- 三. クシヤミする君の背中に冬来たり
- 四. 輝く目幸多かれと卒業の日
- 五. 春旅で和同開珎夢もらう

【短歌】

- 一. 友の笑顔雲の彼方に消えゆきて
あふるる涙風に散り逝く
- 二. 鹿見島の遠き地より名前呼ぶ
優しき声に逢いたさ暮る
- 三. えびの路に茜に染まる紅葉谷
君の笑顔も鮮やかな赤
- 四. はらはらと道行く人に降りそそぐ
光の中の零れ桜
- 五. 遅くまで机に向かう孫の背に
夢かなうようそつと祈りし



可憐に咲く沈丁花

母校だより

学校だより

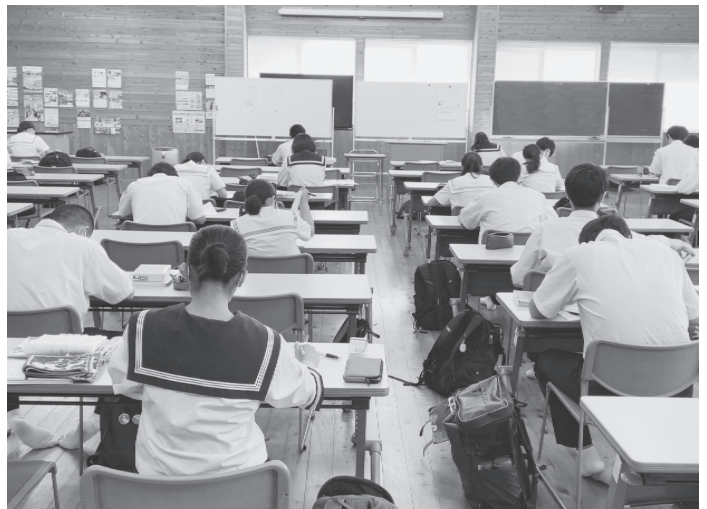
同窓会係 内菌和浩

令和3年も新型コロナウイルス感染症の影響は続いております。一日遠足や文化祭といった学校行事や南薩地区大会、高校総体県予選、九州大会、高校総体等の校外行事は、新型コロナウイルス感染症対策を十分にに行い、参加者の制限をかけた上で開催されております。新型コロナウイルス感染症対策は、学校でも日常的に行われており、具体的には毎日の検温と健康観察、手洗いの徹底、換気の実施、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保等が挙げられます。

さて、夏季休業中の川辺高校の様子をお知らせいたします。7月21日(水)～7月30日(金)と8月18日(水)～8月24日(火)には通常の夏季補習を、8月25日(水)～8月27日(金)は授業日として通常の授業を行いました。放課後には、同窓会のご尽力により建設された施設(尚学舎)を各学年で活用しており

ます。特に、3年生は「+a(プラスアルファ)学習の会」と銘打った勉強会が、7月は毎週月曜日と金曜日の放課後に、夏季補習期間は毎日放課後に尚学舎で行われ、多くの生徒が、時間を有効活用しながら、学習意欲を高め、自分の進路実現につなげる努力をしています。また、1・2年生は、周年記念事業で導入したタブレットを尚学舎で使用し、自分の興味関心のある先生方の講義の動画等を視聴したり、自分の進路についての探究を深めたりしております。

また、この期間は学習だけでなく、部活動にも時間をかけられる時期です。ほとんどの部は、2年生を中心にした活動をすでに始めており、秋の新人戦に向けてしっかり練習を重ねながら、個々の技術を一層向上させています。ただ、昨年度より生徒数が減少していることもあり、学校単独チームとして出場できる部活動が少なくなっております。そのような状況ではありますが、練習試合や合同練習等に参加することで、学校の練習では学べないこと



3年生対象の「+a(プラスアルファ)学習の会」と銘打った勉強会の様子

また、この期間は学習だけでなく、部活動にも時間をかけられる時期です。ほとんどの部は、2年生を中心にした活動をすでに始めており、秋の新人戦に向けてしっかり練習を重ねながら、個々の技術を一層向上させています。ただ、昨年度より生徒数が減少していることもあり、学校単独チームとして出場できる部活動が少なくなっております。そのような状況ではありますが、練習試合や合同練習等に参加することで、学校の練習では学べないこと

も習得しています。

ボランテニア活動等を始めた様々な校外活動への生徒の取り組みについてですが、7月に行われた「南九州市ふうりんの小径」や「かわなべ軒先夜市」に、多くの生徒がボランテニアとして、行事の準備や運営等に参加しました。自宅のパソコンのZoomのアプリを利用して、8月の高校生イングリッシュトレーニングキャンプに、Web上で参加

した生徒もおります。また、外部検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定)を受験して、自分の進路実現につながる資格所得に取り組んでいる生徒も数多く見受けられます。このように、生徒は自分の将来を見据え、さまざまなことに真剣に取り組んでおります。今後とも母校・後輩へのご支援をよろしくお願

いします。

も習得しています。



〈お知らせ〉

延期されておりました創立120周年記念式典等につきましては、本年(令和3年)11月20日に開催いたします。ただし、新型コロナウイルス感染症防止のため、誠に申し訳ございませんが、関係者以外の出席はご遠慮いただくことになりました。何卒御理解御協力賜りますようお願い申し上げます。



右の看板は2人の入賞を祝って学校が作成しました。正門左側に設置してあります。



全国高等学校総合体育大会のなぎなた競技が、8月9日(月)～8月12日(木)に石川県白山市で行われました。演技の部で、3年の國光蓮と蓮子結夢が3位に入賞する快挙を成し遂げました。なぎなた競技の演技の部(手前2人の左側が蓮子、右側が國光)



なぎなた競技参加メンバー全員と高山・堀脇両先生との記念写真

森田建設(株)

代表取締役
本部同窓会会長 **森田 剛**(S43卒)

川辺町上山田4330
TEL.0993-57-3321
FAX.0993-57-3323



建設現場のあらゆる問題を解決。天然砕石/パイル工法で住宅地盤が算る。
HySpeed

株式会社 加覧組

代表取締役 **新谷 昭彦**
(S59年卒)

〒897-0213
鹿児島県南九州市川辺町小野1184
TEL 0993-56-0321
FAX 0993-56-2173

関東知覧会

今年の総会は延期となりました。
次回の開催時は親戚・知人の
皆さんをお誘いください。

古い町並みに心やすらぐ町
平和の尊さを語りつぐ町

会長 **前原 東二**

川辺高校出身者 役員紹介

大平 政弘(S34)
峯苦 稔三(S41)
緒方むつ子(S41)
井尻 啓子(S41)
佐多ふく子(S41)
三宅 保弘(S54)
瀬戸口欣宏(S55)

連絡先 136-0073 江東区北砂1-4-16-603
事務局 副会長・幹事長
尾曲 正孝 090-8854-3263

関東さつま川辺会

第30回総会(記念大会)は、
開催予定日が決定しだい案内状
でお知らせいたします。

会長 **川野 博一**(昭和37年卒)
副会長 **大坪 剛**(昭和32年卒)
副会長 **東 昭雄**(兼任)
副会長 **吉留 浩一**(兼任)
会計監査 **野間 善治**
会計監査 **大平 キヨ子**(昭和37年卒)
幹事長 **東 昭雄**
副幹事長 **本田 和幸**(昭和50年卒)
副幹事長 **草原 陸雄**
副幹事長 **内村 哲也**(昭和50年卒)
事務局 **田中 勝之**(昭和56年卒)
事務局 **有村 公美子**(平成6年卒)

(〇年卒)は川辺高校卒業年)

連絡先 〒181-0005 三鷹市中原3-8-30
事務局長 **吉留 浩一**(0422-26-7065)

南谷綜合法律事務所

弁護士 **南谷 知成**(昭和36年卒)
弁護士 **南谷 敦子**(長女)
弁護士 **南谷 博子**(三女)
パラリーガル **西 真由子**(平成17年卒)

南谷朝子公認会計士事務所

公認会計士 **南谷 朝子**(二女)
〒810-0041
福岡県福岡市中央区大名1丁目8-10
福岡安藤ハザマビル 5F
TEL : 092-724-1113
<http://minamitani-law.jp/>

みなみにひろたか

南谷洋至法律事務所

弁護士 **南谷 洋至**
(昭和49年卒)
金峰町白川・阿多中出身

Empty your mind. Be water, my friend.
天籟遠く先哲の我にも言ふ声あらん

〒810-0041 福岡市中央区大名一丁目8番12号
第二西部ビル3階・南谷洋至法律事務所
TEL 092-736-1531 FAX 092-736-1533
(川辺高校福岡同窓会事務局)

ENEOS株式会社特約店
三井住友海上火災保険株式会社代理店
東京海上日動火災保険株式会社代理店

株式会社 前野石油 株式会社 前野設備

代表取締役会長 **前野 政美**
代表取締役社長 **前野 耕作**

■石油事業部 ■ガス事業部
■車販・太陽光事業部
■住宅関連事業部 ■損害総合保険事業部
■車検事業部 車検・板金センター
(国土交通省運輸局指定工場 指定番号 鹿-885)

本社 〒897-0211 鹿児島県南九州市川辺町両添1026
TEL0993-56-1336(代) FAX0993-56-3983

昭和38年卒の皆さん

コロナ禍で2年間のご無沙汰です。

来年の総会・懇親会

(令和4年6月4日土曜日)

皆さん元気に再開しましょう。

昭和38年卒有志

皆様的一段のご健勝をお祈り申し上げます

前会長

小原 東洋明

(昭和38年卒)

会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

元会長(昭34年) **大平政弘**

〒247-0025 横浜市栄区上之町 47-16

電話 : 045-891-0197

ミネ・アニマル ヘルス

獣医師 峯 苦 稔 三
(41年卒)

家畜の病気を予防し、安心・安全な畜産物の生産に取り組んでいます。

〒300-1622
茨城県利根町布川454-180
電話：090-2440-7109

S41年卒のよかおごじよ よか二才さん達へ

令和4年6月4日(土)に3年振りの総会・懇親会を予定しています。コロナに打ち勝ち元気で再会しましょう。

みんな、おじゃったもんせ!!

(昭和41年卒・役員一同より)

シモ動物病院

院長 霜 出 幸 七
(41年卒)

愛犬・愛猫の病気の予防治療に、ご利用ください。

〒891-0113
鹿児島市東谷山3-36-11
電話 099-267-5959

知的創造

げんぜんこんん
源泉混混として、
昼夜を舍かず。
科に溢らして
みる後に進み、
しむる後に放る。
四海に放る。
(五十一年 離世下よし)

小社は学校の教材や書籍、チラシなど印刷物全般を専門に、千代田区で創業以来、本作りの専門会社です。自社で入力から製本まで一括で出来るからこそ、安価でご提供させて頂いております。

企画編集から製本まで 自費出版大歓迎!! カラー名刺・絵ハガキ・封筒・ポスター・横断幕 小部数でも安価でできます ご相談下さい

Eishin 株式会社 盈進社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-2 三信ビル
TEL 03-3262-3471代 FAX 03-5210-7226
Eメール : info@eishinsya.co.jp

相続に関するご相談!

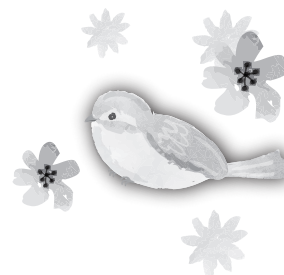
・親子、兄弟姉妹で
円満相続

ライフプランナー
ファイナンシャル・プランナー(日本FP協会会員)

内村 哲也

(昭和50年卒)

東京都品川区大崎 1-11-1
グートシティ大崎ウエストタワー
ブルデンシヤル生命保険株式会社
首都圏第1支社
TEL: 03-6675-9837
携帯: 090-4962-1820



昭和40年卒業の みなさんへ

今が青春ですよ!!

残りの人生をもっと豊に!!

皆さん集まって、 明日からの夢を語ろう!!

第45回総会懇親会

2022年6月4日(土)

12:00 ~ 15:00

市ヶ谷駅近隣会場(予定)にて



第41回総会懇親会より

[昭和40年卒有志]

昭和45年卒業の皆様方へ!!

新型コロナの感染拡大により、令和2年・3年の総会が中止となりました。我々にとっては古希の年と重なり残念な思いです。早期のコロナ終息を強く願っております。令和4年には、我々同期だけでなく、関係者の多くの御参加を頂き、再会を喜び合いたいと思います。

健康寿命を伸ばそう!! フレイル撃退!!

われら神戈陵同窓生

われら神戈陵同窓生
過去の少し若かりし頃の写真集にしてみました。
楽しい思い出に浸って下さい。
田中勝之 (昭和56年卒)



昭和25年卒 (2016年撮影)



昭和27年卒 (2016年撮影)



昭和28年卒 (2011年撮影)



昭和29-31年卒 (2015年撮影)



昭和32年卒 (2015年撮影)



昭和33年卒 (2017年撮影)



昭和34年卒 (2017年撮影)



昭和35年卒 (2015年撮影)

われら神戈陵同窓生



昭和36年卒 (2012年撮影)



昭和37年卒 (2016年撮影)



昭和37-39年卒 (2011年撮影)



昭和38年卒 (2018年撮影)



昭和40年卒 (2010年撮影)



昭和41年卒 (2017年撮影)



昭和42-43年卒 (2012年撮影)



昭和43年卒 (2015年撮影)

われら神戈陵同窓生



昭和44年卒 (2010年撮影)



昭和45年卒 (2016年撮影)



昭和46年卒 (2018年撮影)



昭和47年卒 (2014年撮影)



昭和48年卒 (2010年撮影)



昭和49年卒 (2018年撮影)



昭和50年卒 (2015年撮影)



昭和51年卒 (2019年撮影)

われら神戈陵同窓生



昭和52年卒 (2014年撮影)



昭和53-55年卒 (2011年撮影)



昭和54年-平成年度卒 (2014年撮影)



昭和57年-平成年度卒 (2016年撮影)



校歌斉唱 (2010年撮影)



校歌斉唱 (2010年撮影)



校歌斉唱 (2012年撮影)



校歌斉唱 (2015年撮影)

川辺高等学校東京同窓会と同窓会会則(令和3年改正)について

川辺高等学校東京同窓会(以下本同窓会)は、昭和25年3月に設立された川辺高等学校(本部)同窓会の会則第1章第4条に基づいて、関東地区および近県在住の卒業生を会員とし、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的として、昭和52年11月に設立されました。

本同窓会の活動は、会員の皆さまから頂く年会費(現在1年度当たり1000円)とご寄付を原資として、幹事、評議員、役員による無償の運営参加で支えられています。

近年は会員の高齢化や入学生の減少もあって、本同窓会の在り方も問われるような状況になりつつありますが、役員をはじめ事務局は本同窓会の活性化に努力しています。会員の皆様には引き続き盛大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本同窓会の会則は設立以来数回の改正を経ており、全文をご覧になったことが無い会員様もおられると思いますので、ここに改めて掲載することにいたしました。

令和3年10月吉日

川辺高等学校 東京同窓会

会長 森山 昭利

鹿児島県立川辺高等学校東京同窓会会則

第1章 総則

第1条 名称 本会は鹿児島県立川辺高等学校同窓会会則第1章第4条に基づき設立され、川辺高等学校東京同窓会という。

第2条 目的 本会は関東地区及び近県に在住する川辺高等学校同窓会会員相互の親睦をはかり、川辺高等学校の発展に寄与することを目的とする。

第3条 所在地 本会の事務局は、〒102-0072 東京都千代田区飯田橋一丁目五番七号 東専堂ビル5F 株式会社 盈進社内(TEL 03-3262-3471)におく。

第2章 会員及び権利、義務

第4条 会員 本会の会員は正会員と客員の2種とし、それぞれの会員となる資格を有する者は次の通りとする。

1. 正会員 次の1に該当するもので関東地区に在住することを原則とする。

- (1) 旧川辺中学校の卒業生
(2) 旧川辺高等女学校の卒業生
(3) 川辺高等学校併設中学校の

卒業生

- (4) 川辺高等学校の卒業生
(5) 前(1)から(4)までに掲げた各学校の中途修了者並びに中途退学者であった者
2. 客員 前項(1)から(4)までに掲げた各学校の、関東地区に在住する旧職員。

3. 関東地区とは東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、栃木、茨城の各都県とする。

4. 他地域在住者で本会に入会を希望する者は幹事会の推薦によって会長が承認することが出来る。

第5条 会費の納入 正会員は総会の決定により年会費を納入しなければならない。

2. 既納の会費はいかなる理由があってもこれを返還しない。

第6条 資格喪失 会員は次の理由のよってその資格を喪失する。
1. 退会
2. 死亡、失踪宣告

第7条 退会 会員で退会しようとする者はその理由を付して退会届を幹事会に提出しなければならない。

第8条 除名 会員が次の各号の1に該当するときは、総会の決議を経

て会長がこれを除名することが出来る。

- 1. 会費を滞納したとき。
2. 本会の名誉を傷つけ、又は本会の目的に反する行為のあったとき。

第3章 役員及び評議員

第9条 役員 本会に下記の役員をおくことが出来る。

会長1名、副会長若干名、幹事長1名、副幹事長若干名、幹事若干名、会計監事2名、名誉会長、顧問若干名、相談役若干名。

第10条 役員の選出 会長、副会長及び会計監事は総会において選出する。ただし緊急やむを得ない場合は評議員会において選出することが出来る。

2. 幹事は評議員の互選により選出し、会長が任命する。

3. 幹事長及び副幹事長は、幹事の互選による幹事会の推薦に基づき総会の議決を得て会長が任命する。

4. 名誉会長、顧問及び相談役は会員の推薦に基づき評議員会の議決を得て会長が委嘱する。

第11条 任期 本会の役員は任期は2年とするが再任は妨げない。

2. 補欠又は増員により就任した役員は前任者の残任期間又は現任者の残任期間に相当する期間とする。
3. 役員はその任期満了後でもその

後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

4. 役員は本会の役員として、ふさわしくない行為のあった場合又は別の事情にある場合には、その任期中であっても総会又は評議員会の議決により会長が解任出来る。

第12条 評議員…本会には評議員100名以上を置く。

2. 評議員は第4条第1項(1)から(4)までに掲げた各学校の卒業年次別に1名(ただし川辺高等学校では男女各1名)を正会員の推薦により選出し、会長が委嘱する。

3. 評議員には前条第1項から第4項までの規定を準用し、この場合には同条中「役員」とあるのを「評議員」と読みかえるものとする。

4. 評議員は評議員会を組織し会長の諮問に応じ、本会運営上重要な事項の協議、議決にあたり、役員 の提案に基づいて本会に必要な細則を協議決定することが出来る。

5. 評議員会は必要のあるときに会長がこれを招集する。

6. 評議員会の議長は会長とする。ただし会長、副会長、幹事長及び副幹事長共に事故ある時は評議員の互選で定める。

7. 第10条第2項により幹事の選出

された年次は、評議員をそれぞれ1名ずつ補充として選出することが出来る。

第4章 幹事及び幹事会

第13条 幹事は幹事会を組織し、会長

指示の許で、東京同窓会と本部同窓会の渉外、本会の事業計画の実施、会員との連絡通信、会員の名簿の改訂、会計庶務等の事務をとる。

2. 幹事の中より事務局長1名を幹事の互選により選出し、会長が任命する。

3. 幹事長は会長の命によって幹事の運営、業務の遂行にあたる。

副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長事故あるときはその職務を代行する。

4. 事務局長は第1項の事務を統括し処理する任にあたる。

第5章 会計及び会計監査

第14条 会 計…本会の経費は年会費、寄附金及びその他の収入をもって当てる。

2. 会計年度は毎年1月1日より12月31日までとする。

第15条 会計監事…会計監事は本会会計の監査にあたる。

第6章 総 会

第16条 総会…本会総会は年1回4

月から6月の間に開催する。

2. 総会の議長は会長とし、会長、副会長、幹事長及び副幹事長共に事故あるときは会員の互選で定め

る。

3. 総会の招集は少なくとも20日以前にその会議に付議すべき事項、日時及び場所を記載した書面をもって会員に通知する。

4. 次の事項は総会に提出してその承認を受けなければならない。

(1) 会則の変更

(2) 役員の変任

(3) 事業計画

(4) 予算、決算の審査

(5) その他幹事会において必要と認めたる事項

5. すべての議決は出席者の過半数の同意を得なければならない。

6. 書面表決による総会…やむを得ない事由により総会の開催が不可能となった場合、役員過半数の賛成により、書面表決による総会を開催することができる。

7. 第6項に定める総会の開催日については、役員で協議のうえ会長が決定する。

8. 第6項に定める総会は少なくとも20日以前に、「開催事由」、「開催日ならびに書面表決書の必着日」、「議案(前条第4項に定める事項)」を記載した書面および「書

面表決書(ハガキ等)」を会員に郵送する。

9. すべての書面表決書による議決は表決者の過半数の同意を得なければならぬ。

10. 事務局は表決書の集計結果を会長および副会長に報告し、その後速やかに議決の結果を会員に郵送で通知しなければならない。

附則 本会則は昭和52年11月10日より

有効とする。

本会則の改正は平成7年6月3日より有効とする。

本会則の改正は平成9年6月7日より有効とする。

本会則の改正は平成10年6月6日より有効とする。

第5条会費の納入の3を削除。

本会則の改正は令和元年6月8日より有効とする。

第9条役員に相談役若干名、第10条役員選出の第4項に相談役を追加。

本会則の改正は令和元年6月8日より有効とする。

本会則の第14条および第16条の改正は令和3年の総会終了時より有効とする。

第45期の決算期は令和3年4月1日から12月31日までとする。

事務局からのお知らせ

総会、2年連続中止

昨年に引き続き今年も総会が中止となりました。厳しいコロナ禍の状況に鑑みて、感染防止のために止むを得ず断念せざるを得ませんでした。多くの会員同士の皆様と2年連続でお会いできる機会がなくなり大変残念でした。

郵送で表決

第45回東京同窓会(総会・懇親会)が開催できなかったために、懸案の各議題について郵送で皆様に報告・提案のうえ表決していただく、「郵送による書面表決方式」での総会を6月30日付けで開催させていただきました。

報告および議題

- ・ 会務報告(第43期と第44期分)
- ・ 会計報告ならびに会計監査報告(第43期と第44期分)
- ・ 会則の一部変更(会計年度3月末締めを12月末締めへ、書面表決総会)

役員改選

皆様から200通近い返信を集計した結果、過半数の賛成により、すべての報告と議案が可決されました。

年会費について

東京同窓会は会員の皆様からいただいた年会費で運営されています。いつもご支援をいただきありがとうございます。

同窓会が2年連続で中止になったために会場での会費をいただく機会もありませんでした。今後とも皆様の会費の納入にご協力何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員のつながりをこれからさらに大事に

会員の減少が進んでいます。ますます、貴重なつながりとなってきます。これからも会員の発掘を続けていきたいと思ひます。ご縁のある同級生、

◇ 令和2年度 川辺高等学校東京同窓会 会務報告 ◇

| | | |
|------------|--|-------------|
| 令和2年 5月30日 | 会計監査 | (図師田、有馬、岡本) |
| 6月20日 | 役員会 | 於：北海道飯田橋駅前店 |
| | 会計監査報告、第45回総会・懇親会、会報誌について | |
| 8月15日 | 第45回総会・懇親会会場調査 | 於：現地 |
| 9月 1日 | 本部同窓会より同窓会名簿用に東京同窓会の会員データの提供依頼あり →東京同窓会役員総意として提供辞退を決定 | |
| 9月26日 | 「神戈陵第44号」校正会議 | 於：盈進社 |
| 10月31日 | 秋季評議員会 | 於：東京しごとセンター |
| | 「神戈陵第44号」発送作業 | |
| 令和3年 1月中旬 | リモート役員会(総会・懇親会開催の可否を協議) | |
| 1月23日 | 第45回総会・懇親会の中止決定 | |
| 2月 3日 | 会員への中止連絡ハガキ発送 | |
| 5月31日 | 書面表決総会の案内状発送 | 於：盈進社 |
| 6月30日 | 書面評決総会開催 | |
| | 第1号議案：第43期と第44期会務報告 | 可決 |
| | 第2号議案：第43期会計報告と会計監査報告 | 可決 |
| | 第3号議案：第44期会計報告と会計監査報告 | 可決 |
| | 第4号議案：会則の一部変更案 | 可決 |
| | 第5号議案：第45期～第46期役員改選案 | 可決 |
| 7月 2日 | 総会の表決結果(ハガキ)発送 | |
| 7月15日 | 母校より令和3年11月21日開催予定の創立120周年記念式典 に関して関係者のみで縮小して実施する旨の連絡受領 | |
| 7月21日 | 令和4年総会・懇親会(6月4日)の会場仮予約 ホテル グランドヒル市ヶ谷 | |
| 9月21日 | 本会事務局所在の「株式会社 盈進社」移転 | |



役員改選の件

令和3年6月

| 第45期～第46期 役員 | | | |
|--------------|--------|-------|-------|
| 役職名 | 氏名 | 卒業年度 | 備考 |
| 会長 | 森山 昭利 | 昭和41年 | |
| 副会長 | 峯 苦 稔三 | 昭和41年 | 会報誌担当 |
| | 川原 修二 | 昭和45年 | 総会担当 |
| | 中原 信寛 | 昭和52年 | 新任 |
| | 松永 郁代 | 昭和40年 | |
| | 橋本 起世子 | 昭和41年 | |
| | 岡本 伊津子 | 昭和43年 | 会計担当 |
| | 椎原 直子 | 昭和48年 | |
| 幹事長 | 山本 朗 | 昭和48年 | 新任 |
| 副幹事長 | 内村 哲也 | 昭和50年 | |
| 事務局長 | 林 昭子 | 昭和50年 | 新任 |
| 副事務局長 | 田中 勝之 | 昭和56年 | |
| 事務局員 | 上塩入 浩一 | 昭和63年 | |
| | 有村 公美子 | 平成06年 | |
| 幹事 | 大坪 剛 | 昭和32年 | |
| | 千葉 美代子 | 昭和34年 | |
| | 川野 博一 | 昭和37年 | |
| | 松山 満芳 | 昭和37年 | |
| | 堂園 俊秋 | 昭和38年 | |
| | 鳥海 睦子 | 昭和38年 | |
| | 深井 麗子 | 昭和40年 | |
| | 佐藤 妙子 | 昭和44年 | |
| | 菊永 道昭 | 昭和45年 | 新任 |
| | 高倉 都 | 昭和46年 | |
| | 川平 悦郎 | 昭和47年 | |
| | 内原 健一 | 昭和48年 | |
| | 中藺 幸男 | 昭和50年 | |
| | 畠中 耕一 | 昭和50年 | |
| | 下之藺ルリ子 | 昭和51年 | |
| 渡辺 淳子 | 昭和52年 | | |
| 堂園 孝美 | 昭和54年 | | |
| 樋渡 信也 | 昭和55年 | | |
| 会計監事 | 凶師田 格 | 昭和47年 | |
| | 有馬 洋二 | 昭和44年 | |
| | 岡本 伊津子 | 昭和43年 | 副会長兼務 |
| 幹事会計 | 蔵元 明洋 | 昭和49年 | |
| | | | |
| 顧問 | 鯨坂 悟郎 | 昭和32年 | |
| | 大平 政弘 | 昭和34年 | |
| | 小原 東洋明 | 昭和38年 | |

先輩後輩等がいっしょにしゃべりましたら東京同窓会のことをご案内ください。
**令和2年、3年の
 高校の卒業生**

令和2年に5名の卒業生が関東に学びに来ています。令和3年は2名の卒業生がやってきました。例年なら総会・懇親会の開催時に招待して、会員の皆様に紹介して若者の初々し

い挨拶を聞くことができたのですが、それもかなわず残念でした。大学等でもリモート授業が多く単身での学生生活は、大変な苦勞でしょうが、この困難を乗り越えて頑張つて欲しいと思います。次回、総会・懇親会が開催される際には是非とも参加してもらいたいと思います。

次回の総会・懇親会でお会いしましょう！

1年半を超えるコロナ禍で様々な制約のある中で過ごされていることと思います。外出する機会が減り、またリモートワークで運動不足になったりすることもあるかと思ひます。
 リモートお茶会・リモート飲み会

のようなこともできる時代になりましたので可能な方はぜひ、同級生たちと連絡とってみてはいかがでしょうか？

皆様くれぐれも体調にお気をつけてください。そして、次回、総会・懇親会が開催される際にはお元気にご参加されることをお待ちしております。



第46回総会・懇親会のご案内

令和4年の総会・懇親会をご案内します。

但し、新型コロナウイルスの感染・流行の状況により、内容の一部変更または開催を中止もあり得ることを予めご承知ください。

- (1) 開催日：2022年6月4日(土)
- (2) 時 間：午後12時～15時
- (3) 場 所：ホテルグランドヒル市ヶ谷
(JR市ヶ谷駅より徒歩3～5分と近いです。)

3年ぶりの開催となりますので、多くの会員の皆様をご参加下さるようお願いいたします。

昭和52年卒がメインの担当年度幹事、42年卒と62年卒の皆さんは補助として総会・懇親会の円滑な運営にご協力お願いいたします。

なお、最終案内は、令和4年2月に発送予定です。

川辺高校東京同窓会事務局 移転のご案内

新住所

〒102-0072

東京都千代田区

飯田橋一丁目五番七号

東専堂ビル5F

株式会社盈進社内

●アクセス

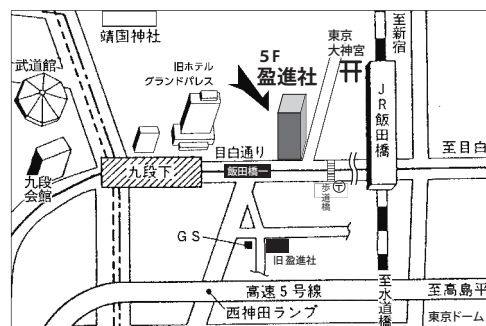
東西線 九段下より5分

JR飯田橋より 6分

川辺高校東京同窓会

会長 森山昭利

事務局 株式会社盈進社



東京同窓会発足より事務局を置かせていただいている株式会社盈進社が九月二十二日より移転いたしました。

左記の通り、旧事務所から近いところです。尚、電話、メールアドレス等は変更ございません。

◆ホームページについて
 東京同窓会開設しているホームページがありま
 す。総会の時の写真を
 アップしています。
 また、そのほか、高校
 のホームページなどあり
 ますのでご案内いたしま
 す。
 是非、覗いてみてくだ
 さい。

川辺高校東京同窓会ホームページ

http://kawanabe-hs-tokyo.com/



フェースブック：ページ名

「川辺高校 東京同窓会FBコミュニティ」



川辺高校ホームページ：

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kawanabe/

川辺高校公式ブログ：

http://kawanabe.edu.pref.kagoshima.jp/



編集者
 森山、川原、松永、橋本、岡本、
 椎原、内村、中原、田中、峯苦

来年の同窓会は
 6月4日(土)に予定し
 準備を進めています
 次にお会いする時は
 大変だったことと同じぐらい
 良かったことを語れるように
 小さなことを少しずつ

自分は失ったものと
 新しく得たものと
 どっちが多いだろうか
 今まで通りではない日常だからこそ
 新しく知ったことがあり
 見えていないことが見えて
 本当に大切な何かに気付く
 そんな気がします
 憂鬱になりがちなこんな時期でも
 今を明るく語れる人がいます

事務局長 中原信寛(昭和52年卒)

編集後記

令和2年度 川辺高等学校東京同窓会 会計報告

自：令和 2 年 4 月 1 日
至：令和 3 年 3 月 31 日

| 収入の部 | 金額 | 支出の部 | 金額 |
|-------------------------|-----------|---|-----------|
| 年会費収入 158名 | 208,000 | 総会関連費(総会中止案内) | 62,820 |
| 寄付金 111名 | 495,000 | 会報誌関連費 | 467,111 |
| 会報誌広告収入 16件 | 180,000 | 会議費(会場費等) | 10,350 |
| 立替金 (創立120周年記念募金) 3名 | 27,000 | 通信関連費 | 7,392 |
| ゆうちょ利子 | 1 | 雑費 | 30,000 |
| | | 手数料(振込料・郵送通知) | 39,025 |
| | | 立替金 (創立120周年記念募金) 3名 | 27,000 |
| 前期繰越金 | 622,602 | 翌期繰越金 ゆうちょ 789,716 郵便振替 49,513 現金 49,676 | 888,905 |
| 合計 | 1,532,603 | 合計 | 1,532,603 |

上記の件、監査の結果相違ありません。

令和 3 年 5 月 3 日

会計監事 國師 田 格
 会計監事 有馬 洋二





清水摩崖仏群